



「持ち味を生かしながら」

夏休みを終え、元気な笑顔が五泉北中学校に戻ってきました。休みの間、大きな事故や怪我もなく無事に過ごせたことを大変うれしく思います。

この夏休み中、北中の代表として北信越大会、中学生海外派遣、広島平和記念式典派遣、わたしの主張大会への参加など、校外の様々な場面で意欲的に活躍する姿が見られました。また、校内でも、部活動や運動会準備活動に熱心に取り組みました。この夏に経験したこと、努力したことは今後の生活をさらに豊かなものにしてくれると思います。

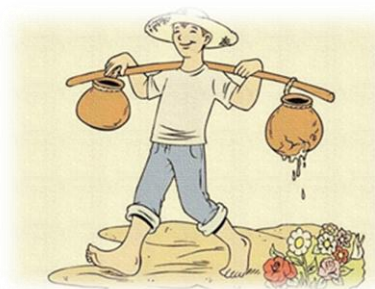
さて、今日は、私が大好きな「ひび割れ壺」という話を紹介したいと思います。

インドに二つの壺（つぼ）を天秤棒（てんびんぼう）でかついで水を運ぶ水くみ人がいました。その壺の一つにはひびが入っており、もう一つの壺は完璧にできている壺でした。完璧な壺は、小川からご主人様の家まで一滴の水もこぼさないが、ひび割れ壺は水をいっぱい入れても、ご主人様の家に着く頃には水が半分に減ってしまっていたのです。完璧な壺は、自分が作られた目的を達成していることに誇りをもっていました。ひび割れ壺はいつも自分を恥じていました。なぜなら、本来の目的を半分しか達成することができなかったからです。2年後のある日、そんなひび割れ壺は、水くみ人に「私は自分が恥ずかしい。そして、あなたにすまないと思っている。あなたがどんなに努力しても、私はその努力に報いることはできない。それがつらいのです。」と話しかけました。すると、水くみ人は「これからご主人様の家に帰る途中、道端に咲いているきれいな花を見てごらん。」と応えました。ひび割れ壺は天秤棒にぶら下げられて丘を登って行くとき、お日様に照らされて美しく咲き誇る道端の花に気付きました。花は本当に美しく、ひび割れ壺はちょっと元気になったのですが、ご主人様の家に着くころには、また水が半分に減ってしまい水くみ人に謝りました。すると、水くみ人は「道端の花に気付いたかい？花が君の側にしか咲いてないのに気付いたかい？僕は君からこぼれ落ちる水に気付いて、君が通る側に花の種をまいたんだ。そして、君は毎日、僕たちが小川から帰る途中、水をまいてくれた。この2年間、僕は、ご主人様の食卓にきれいな花を欠かしたことがない。君があるがままの君じゃなかったら、この美しい花で家を飾ることはできなかったんだよ。」と語ったのです。

（『ひび割れ壺』作者不詳 菅原裕子氏 訳）

夏休み明け、定期テストが終わると、運動会に向けての活動が本格化します。その後は合唱コンクールに向けての動きが始まります。皆さんの中にはそれぞれ、得意なことや苦手なことがあるのが当然です。大切なのは、互いの「ひび」を責めるのではなく、水くみ人のように「相手の良さを生かす種」をまくことではないでしょうか。「それぞれの持ち味を生かす」にはどうすればよいかをみんなで考え、一人一人が輝ける場をつくりながら、さらに充実した学校生活を送っていこうではないですか。

（R8.8.28 全校朝会校長講話より）



学校評価アンケート結果

ご多用の中、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。一部ですが結果を掲載します。いただいたご意見等は真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。今後とも北中生への応援をよろしくお願いいたします。

＜生徒・保護者共通質問項目＞

* 肯定的評価（そう思う・どちらかといえばそう思う）の割合を示しています。（％）

	質問項目	生徒	保護者
1	「自分で考える力」が身に付いている	93.0	83.1
2	「自分で正しく判断し、行動する力」が身に付いている	93.7	85.4
3	「自分の考えを相手に分かりやすく伝える力」が身に付いている	77.3	62.9
4	「自分の限界に挑戦する力」が身に付いている	84.0	53.9
5	「思いやりの心」が身に付いている	96.0	96.6
6	「感謝の心」が身に付いている	98.0	90.4
7	「素直な心」が身に付いている	89.3	91.0
8	「正義の心」が身に付いている	90.7	92.1
9	毎日が充実し学校が楽しいと感じている	88.3	83.7
10	授業を真剣に受けている	85.0	83.7
11	週5日以上家庭学習に取り組んでいる	66.7	61.2
12	食事や睡眠など、規則正しい生活ができている	79.7	63.5
13	メディアに費やす時間をコントロールできている	44.3	32.0
14	学校は、安心して学べる学校になっている	69.7	73.0

- 「感謝の心（生徒 98.0%、保護者 90.4%）」や「思いやりの心（生徒 96.0%、保護者 96.6%）」など、豊かな心に関する項目の評価が高く、豊かな人間性が着実に育っています。また、「自分で考える力」「自分で正しく判断し行動する力」も生徒の9割以上、保護者の8割以上が実感しています。
- 「メディア時間のコントロール」は生徒 44.3%、保護者 32.0%と最も低い数値となりました。これに伴い、「規則正しい生活」や「家庭学習習慣（週5日以上）」にも課題が残ります。
- 「自分の考えを分かりやすく伝える力」や「自分の限界に挑戦する力」は、特に保護者からの肯定的評価が5～6割台にとどまっており、学校での学びを家庭での実感へとつなげる工夫が必要です。
- 「安心して学べる学校」については肯定率が7割にとどまっており、より誰もが不安なく過ごせる環境が求められます。

〈学校としての今後の取組〉

表現力と挑戦心を育む授業・行事の推進

対話的な学びや発表の機会を増やし、「自分の考えを伝える力」や「粘り強く挑戦する姿勢」を伸ばしてまいります。

家庭と連携した「メディアコントロール・生活習慣」の改善

メディアコントロールに関する啓発活動や、家庭学習・生活リズムの見直しを、ご家庭と協力しながら推進してまいります。

安心・安全な学校環境の徹底

生徒一人一人が不安や悩みを抱え込まないよう、教育相談の充実やいじめ未然防止の徹底を図り、より一層、安心・安全な環境づくりに努めてまいります。

＜生徒のみの質問項目＞

* 肯定的評価（そう思う・どちらかといえばそう思う）の割合を示しています。（％）

	質問項目（肯定的評価の割合）	生徒結果
1	いかなる理由があってもいじめはよくない	97.3
2	フォーサイトを使い3点固定(起床時間・家庭学習時間・就寝時間)を意識して生活できたか	75.7
3	私語や離席等をせず、授業を真剣に受けているか	85.0
4	授業中の学び合い活動を通じて学習の理解が進んだか	94.0
5	専門委員会などの生徒会活動に意欲的に取り組んでいる	81.3
6	学級の係活動に意欲的に取り組んでいるか	94.0
7	清掃に意欲的に取り組んでいる	92.3
8	遅刻0、チャイムスタート、集会等で時間を守って行動している	88.0
9	あいさつや言葉遣い等、基本的な礼儀に気を付けて生活している	95.0
10	一生懸命に頑張っている人や困っている人を応援したり、支えたりしている	96.0
11	道徳の時間は、あなたの考えを深める時間になっている	93.7

○「いじめはよくない(97.3%)」「頑張る人や困っている人を応援・支援している(96.0%)」をはじめ、「礼儀・マナー(95.0%)」「学び合い(94.0%)」「係活動(94.0%)」など、多くの項目で90%を超える高い数値となりました。互いを思いやり、高め合う集団づくりが着実に進んでいます。

●「フォーサイトを用いた生活習慣(3点固定)の意識(75.7%)」や「専門委員会等の生徒会活動(81.3%)」「授業の受け方・態度(85.0%)」は、全体の中では比較的低い割合にとどまりました。特に規則正しい生活習慣の定着が今後の課題です。



〈学校としての今後の取組〉

家庭と連携した「生活リズム・学習習慣」の定着支援

フォーサイトの活用を継続し、生徒自身が「3点固定」を意識して計画的に過ごせる力を育ててまいります。ご家庭におかれましても、基本的な生活習慣の確立に向けたお声がけをお願いします。

主体的な学びと温かい校風の継続

生徒同士が支え合い、主体的に学べる授業づくり・学級づくりを今後も推進してまいります。

＜保護者のみの質問項目＞

* 肯定的評価（そう思う・どちらかといえばそう思う）の割合を示しています。（％）

	質問項目（肯定的評価の割合）	保護者結果
1	お子さんは将来の夢や希望をもって生活している	65.7
2	学校は、よりよい学校づくりに努めている	85.4
3	学校は、いじめや問題行動のない学校づくりに努めている	79.2
4	学校は、たより、ホームページ等を通じて、教育の方針や学校の様子を伝えようと努力している	86.5
5	学校は、校地・校舎等の手入れや清掃を積極的に行い、教育環境の美化・整備に努めている	88.8
6	学校は地域の人材を活用したり、地域と関わったり、学校を地域に開いたりして、『地域と共に歩む学校づくり』に努めている	85.4
7	学校は、お子さんの悩みや相談事、保護者の相談事についてきちんと話を聞き、丁寧に対応している	84.3

○教育環境の整備(88.8%)や学校からの情報発信(86.5%)をはじめ、学校づくりや地域連携、丁寧な相談対応の各項目で80%以上の肯定的な評価となりました。

●「将来の夢や希望の保持」(65.7%)が最も低く、子どもたちの自己肯定感や将来への意欲を高めるアプローチが必要と考えています。

●「いじめ・問題行動のない学校づくり」(79.2%)についても、全校でさらに徹底した取組が必要と考えています。

〈学校としての今後の取組〉

キャリア教育の推進

目標を持って日々の学びや生活に取り組めるよう、体験的学習や声かけを工夫してまいります。

安心・安全な学校づくり

いじめの未然防止・早期対応を徹底し、一人一人が安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。

【お子さんの成長が感じられること】

<1年生>

- 他者との関わりを難しいながらも、自分の距離感を掴もうと頑張っていると思います。
- 部活動、地域クラブと熱心に打ち込み、友達とも仲良く過ごしていて成長を感じます。テスト期間もしっかり勉強していました。
- 中学生になり、自分のことは自分でやろうという姿勢が見られるようになりました。

<2年生>

- 2年生になってから、毎日少しでも勉強し、スポーツにも一生懸命取り組んでいます。
- 家庭学習や部活動に自分なりのペースで継続して取り組み、以前よりも自分で予定を考えて行動することが増えました。部活動には休まず参加し、苦手な教科にも粘り強く向き合う姿に成長を感じています。
- 自分のことばかりではなく、クラスや学年、学校全体のことを考えて幅広い視野で行動できるようになったこと。

<3年生>

- 相手のことを思いやり、話を聞こうとしたりする姿が見られるようになってきました。
- 課題（受験）に向けて少しずつではあるが意識が変わりつつある。受験勉強をいつから、どのように進めていけば良いかなど考えているようです。
- 相手の話をしっかり聞いて、返事もしっかりしていてびっくりしました。

【北中生の成長が感じられること】

<1年生>

- 朝、忘れ物を届けた帰り道、すれ違う北中生徒さんから挨拶をしてもらいました。元気よく『おはようございます。』心がほっこりしました。
- あいさつがいつもできていてとても良いです。以前より落ち着いていると思います。
- 陸上部や剣道部など、部活動で結果を残し、頑張っているところ。

<2年生>

- 以前ほど悪い話などは特に聞かないし、爽やかな子どもたちが多いと感じています。
- 学校生活を通して、友人や先生との関わりの中で相手の立場を考え、行動する力が身についてきたと感じます。行事や部活動にも責任をもって参加し、中学生としての自覚が育ってきたと思います。
- 一部分しかわからないが、仲間と仲良くコミュニケーションを取りながら、日々楽しそうに過ごしていることが見受けられます。

<3年生>

- 以前と比べると風紀の乱れが少なくなったように感じています。
- スポーツや文化系の部活での記録が沢山あり、子どもが楽しそうに学校での出来事を話してくれるので、安心して通える雰囲気になってきたと感じています。
- 挨拶ができる子どもが多く、子どもたちの雰囲気も以前より明るくなったと感じます。

< 栄光の記録 > * () は学年

【わたしの主張 五泉市・阿賀町大会（8/20 阿賀町公民館）】 奨励賞 Y.H (3)

【北信越中学校総合競技大会】

剣道（泉桜剣士会） 個人戦 1回戦惜敗 W.T (3) 8/6 富山県西部体育センター

相撲（五泉相撲教室） 軽量級個人戦 3位 M.Y (3) 8/5 富山県グリーンパークだいもん

バドミントン（五泉バンビーノ） 男子団体 1回戦惜敗 8/6 高岡市竹平記念体育館

